

小学校 1年

ものの名まえ ～おみせやさんで おかいもの～

八尾市立高美小学校

教科

国語・生活

単元名

ものの名まえ

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づく。
- ・上位語と下位語の関係を知り、言葉を集める。
（学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・必要な知識や情報を得るために読書が役立つことに気づき、本から言葉をさがすことができる。

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP 1, F-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	① 絵本『おみせやさんでくださいな！』（さいとうしのぶ/リーブル）を読み、お店屋さんごっこをすることを知り、単元のめあてや学習計画を立てる。（☆）
第2次 (3時間)	② 教材文「ものの名まえ」を読み、一つひとつの名前（下位語）とまとめてつけた名前（上位語）があることを理解する。 ③ 身の回りにあるものの名前を出し合い、一つひとつの名前とまとめてつけた名前に整理する。（☆） ④ 上位語と下位語の関係になるものの名前を考え、『おみせやさんでくださいな！』のリズムに合わせて、お店屋さんの歌を作る。 （☆）（本時）
第3次 (3時間)	⑤⑥グループを作り、お店屋さんごっこの準備をする。 ⑦ お店屋さんごっこをし、学習を振り返る。

本時のねらい

意味による語句のまとまりや上位語・下位語の関係を理解して言葉を集め、お店屋さんの歌を作る。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 『おみせやさんでくださいな！』の歌を歌う。 ・まとめてつけた名前が「お店の名前」、一つひとつの名前が「商品の名前」になっていることを振り返る。	・くだものやさんの歌を例に、既習事項を振り返る。また、果物という上位語に対応する下位語派、歌にでてくる物以外にもあるということを確認する。
展開 (35分)	おみせにあう ものの名まえをあつめて、おみせやさんのうたをつくろう。 2. お店を出すグループに分かれて、お店に合うものの名前を付箋に書いて集める。 3. 集めた中から選んだ付箋をワークシートに貼り、お店屋さんの歌をつくる。 4. どんな歌を作ったか、途中経過を交流する。	・知っている物の名前や、本から見つけたものの名前を付箋に書いて集める。 ・ものの名前を調べるときに使用できる本を準備し、自ら見つけだせるように促す。 ・歌いながら言葉のリズムを確認したり、内容を修正したりできるように、音楽をかける。 ・ほかのグループの歌を聞いて、知らない言葉に疑問を持った児童がいれば、発表したグループにどんなものか説明するように伝える。
まとめ (5分)	5. 本時の学習を振り返り、次時以降のお店屋さんごっこの準備の見通しを持つ。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・おみせやさんのうたは、本の中に楽譜がついており、児童が言葉をあてはめて歌いやすいメロディです。
- ・児童にとってこれまでの生活経験にない事物があっても、絵本を使うことで知ることができます。
- ・下位語に迷うときには、調べたり、話し合ったりすることを大切にしました。
- ・算数「おおきなかず」と結びつけて、おみせやさんの値段設定を考えることができます。



下位語を付箋に書くことで、
並べたり入れ替えたりすることができました。